

- 若年性軽度認知症・高次脳機能障害ケアセンター
- 地域学童保育・子育て支援センター
- ケアマネジメントセンター
- 土曜日プログラム

えにし * 縁 * enishi * エニシ * えにし

新NPO法が可決されました。NPOへの寄付行為がしやすくなるようです。年一度のまどか社員総会においても、サポーター会員の人数増強について、いくつかのご意見とご提案を頂きました。まどかももうすぐ開業1年を迎えます。1年で40名を越えるサポートを頂いているのは光栄なことですが、さらに支援の輪を広げる努力をして参ります。その一環として、ホームページだけでなくブログやツイッターなどのIT戦略の活用についてもご提案頂きましたので、早速着手しています。

まどかの活動を通して、関わる人たちの笑顔と安心が広がれば良いと思っています。

ちかごろの まどか

4月から、新1年生の学童保育が始まりました。

「ただいま〜!!」と、毎日元気な声で、まどかに帰って来ます。

ランドセルやセカンドバッグなど、山のような荷物を置いて手を洗ったら、早速宿題。

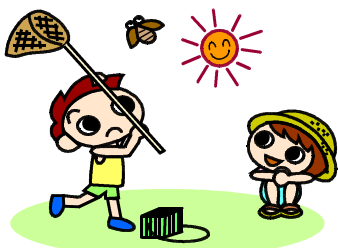
全国的に「ゆとり無し教育」がスタートしたからかどうかはわかりませんが、1年生といえども無差別宿題攻撃から逃れることは出来ません。

スタッフは、子どもたちの遊びたい気持ちをなだめすかして必死に宿題を終わらせます。

特に金曜日は大量の宿題に四苦八苦しています。

「なんでこんなに勉強しなきゃならないの??」という、永遠かつ定番の質問にスタッフが答えられるはずもなく、「勉強しないと、こうなっちゃうからだよ〜」などと答えたら、納得されてしまうところが少し悲しいです。

これから長い夏休み。毎日朝から子どもたちの元気な声が響くでしょう。



◆デイケア事業

利用の問い合わせで多いのが「宿泊」。既存の医療・福祉事業所では、対応してくれないところが多いようです。残念ながらまどかは「デイケア」。宿泊系は公的制度の守備範囲。制度が想定している対象は制度できちっとやってもらいたいものです。

さて、気候が良くて、まどかの利用者さんは、外で運動や草取り、コンビニで買い物してから公園で地域の方たちと会話、などというごく自然な運動療法や行動療法を行っています。



学童の子どもたちとの自然な交流は「世代間交流」そのものなにも、構えて場を設定する必要などありません。人にとって、自然の空気や太陽や土や汗それに会話は、やはり重要な要素なんですね。

スタッフたちは、こまめに記録をとって利用者さんの変化（というより無変化＝状態の継続）を見守っています。ノウハウと効果を公表できれば良いですね。

いよいよ本格的な夏到来。暑さでへばらないようにしなければ。

INFORMATION

若年性・軽度認知症デイケア事業においては、要介護認定を受けている場合介護保険サービスを優先されるよう助言させて頂いております。ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

◆居宅生活支援事業も行っています・・・対象とする利用者の自宅を訪問しての支援

軽度認知症の方のご自宅に訪問し、話し相手・散歩・病院の付き添いなどいわゆる家事援助以外の支援を行い、利用者の「出不精」を緩和し、他人との交流のきっかけ作りを行います。基本料金は1時間あたり1,000円です。

学童保育部門

折り紙ばやり

まどかの学童さんたちは、女の子が多く男の子はちょっと肩身が狭い……。だから、自由時間は「折り紙」が流行。部屋の壁をボードで覆って「展示場所」を用意したのですが、いつも満員。もう空いているところはありません。気がつくと廊下の壁や、スタッフの机の脇や電話機など、ところ構わず貼り付けてあります。それはそれで明るくて良いのですが、このままでは折り紙の館になってしまいそうで苦笑してます。

アルバイト学生

6月から、強力な助っ人3人が、交代で元気な子どもたちの相手をしてきてます。3人とも専門学校の4年生で、既に保育士と幼稚園教諭の免許を持っているという強者です。卒業後は、保育の道に進みたいそうで、実地訓練中！きっと良い先生になることでしょう。

◆就学後の特別支援学童保育も可能です

あらゆるニーズにお応えするのがまどかのコンセプト！制度で対応できない発達期の支援についてもお気軽にご相談ください。



◆介護保険サービスを利用されたい方に、ケアプラン作成及びサービス事業所との連絡調整を行います。

◆医療・福祉制度に関する相談をお受けし、利用可能な制度のご紹介や連絡調整を行います。

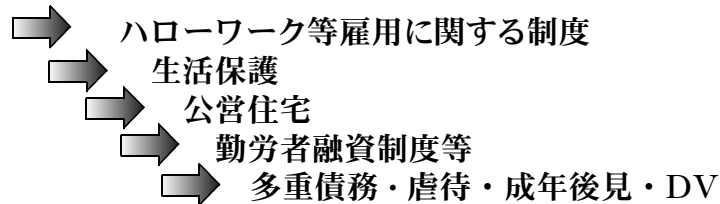
◎障害者自立支援制度

◎児童福祉・母子福祉・子育て支援・奨学金制度

◎精神保健・こころの相談



◆失業・生活資金・住居等に関する相談をお受けし、関係機関のご紹介や連絡調整を行います



まどかサポーターのご案内

◆会員 まどかのサポーター会員は正会員と準会員に分かれています

正会員・・・年1回の社員（会員）総会で表決権1票を持ちます 年会費 1万円

準会員・・・総会にて意見を申述できますが表決権は持ちません 年会費 5千円

★会員数目標は100名。開設後2年以上、会員100名で『認定NPO』になることができます。

(23年 7月 1日現在 正会員 35名 準会員 11名)

◎正会員でも準会員でも、持っている技能をまどかで発揮して頂く事が出来ます

スタッフ短信

今回は まどかのパンダさん鈴木智子（ともちゃん）のご紹介



高校時代のボランティアをきっかけに、介護福祉士を取得して老人ホームに5年勤めた介護のベテラン。出産を機に退職していましたが、もともと家にじっとなんかしていられない行動派。子離れを決意してまどかでケアの仕事を開きました。でもやっぱり子供が心配。心配性で人見知りな一面もありますが、見た目からは想像できないのか誰からも本気にされません。その上几帳面で正義感が強いとすれば、ガッチガチの石頭人間のように思えますが、やっぱりソフトなパンダさんです。

大人の利用者さんに関われば、自分のスキル不足を嘆き、子供達に関われば、我が子の成長とオーバーラップさせてしまう。なんだかラビリンスな毎日を過ごしていますが、利用者さん本人だけでなく、ご家族にまで目配りできる視野の広さがウリです。

でも、本人はパンダじゃなくコアラくらいが良いらしい・・・。ここだけの話しですが、鈴木家の鏡は全部凹面鏡らしいですヨ・・・。

「土曜日プログラム」



土曜日プログラムが大盛況です。

月1回～2回のペースで、去年の10月から始めたのに、もう11回を数えました。

だんだん参加者が増えて、6月はスタッフを含めて25人を越えました。

まどかの中は大にぎわい。

障碍のあるなしに関わらず、いつもの学童さんたちも参加して楽しい企画が展開しています。

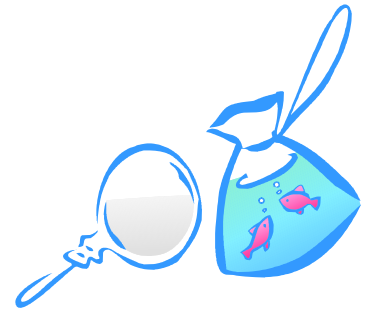
まどかの考える「ソーシャルインクルージョン」の一端を見ているようで、運営側も張り

合いがあります。もり立てて頂いてる皆さんに心から感謝です。

今後の企画にも、ご期待ください。

8月以降の土曜日プログラム

8月 20日	ミニ夏祭り	詳細検討中
9月 10日	アートセラピー	ホンモノそっくりの絵を描きましょう
10月 1日	アロマセラピー	アロマでヒーリング



***詳しくはホームページで

検索

ボランティア

夏休みの学童保育を手伝ってくださる方、募集してます。朝8時から夜7時までの間で都合の良い時間帯で構いません。子どもたちと元気に跳ね回ってみませんか？

お申し込みは  ホームページで!!


*** ゆめのあとさき ～編集後記～ ***

認知症サポーターが全国で200万人を越えたそうです。ホームヘルパーの数は300万人を越えています。介護福祉士も100万人にあと少し。介護の知識やごく一部分の都合の良いところだけ囓った似非介護者が増えているように感じてなりません。

「人はパンのみにて生きるにあらず」人を形作っているのは、介護の対象としての「部分」ではないのですね。本人とその関係者の、普通の生活での喜びや苦しみの葛藤はとても深い脈の中にあり、それは知ってか知らずか誰も掘りあてようとはしません・・・。

さて、エアコンなどなく、暑すぎる家や電車。貧しかったけど夢のあったあの頃に今年は戻ってみましょうか。ただし、水を飲むのだけは忘れずに・・・ご自愛ください。

◇文責 理事長 渡辺隆生 (つくば国際大学講師 社会福祉士)

NPO法人 まちなか交友館
 まどか

特定非営利活動法人 まちなか交友館 まどか

〒 300-4231 茨城県つくば市北条51-1
電話 029-867-6117 FAX 029-867-6118
ホームページ <http://www.machinakamadoca.org>
利用条件等はホームページでご確認ください